

地質ニュース

昭和56年3月

第319号

1981

特集 海洋底をさぐる 55年(1)

海洋地質部の研究の概要.....水野篤行...6

深海底鉱物資源に関する地質学的研究
—昭和55年度研究航海(GH 80-5)を終えて—中尾征三 三尾策...11
小野寺木賢正
玉上嶋井村
白西朗

日本周辺海域の海洋地質調査活動井上英二...28
—昭和55年度の白嶺丸による調査航海— 本宮栄光 旗

沿岸海域汚染に関する調査研究活動.....松本英二...52

霞ヶ浦の歴史.....井内美郎...59

大多喜 ŌTAKI.....三梨昂 64

口 絵 深海底の堆積物コアにみられる生痕化石.....中尾征三

編集 地質調査所

表紙の写真

マンガン団塊(s型)の典型的産状を示す。写真は揚収されたボックスコアの直上から撮影したものである。堆積物表面に露出して分布する様子がよくわかりこれは付属の深海カメラでも確かめられている。s型の団塊は中央太平洋海盆北部にほぼ東西方向に数100kmにわたり特徴的に分布する。その賦存率は10~20kg/m²でまれに40kg/m²に達する高賦存地域だが銅・ニッケル含有率は一般に太平洋における平均値を下まわる。測点データは以下に記す。位置:12°01'N 170°06'W 水深:5770m 賦存率:13.6kg/m² 随伴堆積物:珪質粘土ボックスの一辺は40cm。

発行 株式会社 実業公報社